

## 第6回 くすりのしおりクラブ会議 議事録

開催日時：2013年1月30日（水）14:00～17:00

開催場所：大手町サンスカイルームA室

出席者：くすりのしおりクラブ会員担当者 99名（85社）

講演者 2名

関係者（事務局除く） 3名

計 104名

---

【挨拶】くすりの適正使用協議会 黒川理事長

【議事】

### 報告事項

- 1) 「くすりのしおり®」の利用状況と今後について（有限会社レーダー出版センター松田）  
＜参考資料：スライド資料 p.1、参考資料1＞
  - ・くすりのしおりデータ利用状況は、提供先は昨年と同様であり新規取引先は無し。
  - ・くすりのしおり作成・掲載状況は、全体として堅調な伸びを示しているが、注射剤の掲載は伸び率が鈍化。チーム医療にあたる病院薬剤師からの強いリクエストがあるので、更に掲載数を伸ばす必要がある。
  - ・今後については、今年度くすりの適正使用協議会の中期計画において、医薬品リテラシーの育成が掲げられており、医薬品情報提供ツールである「くすりのしおり®」を重要視している。医薬品情報はかつて医療従事者を意識された内容だったが、昨今では患者のベネフィットに視点を置いたものにシフトしているため、「くすりのしおり®」の有用性を医療行政の中でもオーソライズしていく。また英語版に関しては、オリンピック誘致もあり、ニーズが高まると見込んでいる。より良い情報集約の仕組みとして、原稿作成がスムーズに進むよう、システム改善にも鋭意努力する。
- 2) 「くすりのしおり®」のシステム関連について（有限会社レーダー出版センター黒川）  
＜参考資料：スライド資料 p.3-4、参考資料2＞
  - ・原稿作成時の注意ポイントとオペレーションの操作方法についての報告
    - －剤形写真の貼付方法、エラー回避、コメントログに残して欲しい事例、添付文書アップロード、製品名のフリガナ、XML ファイル読み込み時の注意、変更出来ない情報、英語版の改訂、注射剤の剤形写真、よくある質問 QA
    - －来年度より英語版データ提供がスタートし、薬局・病院・ポータルサイト・スマートフォンアプリなどにデータが使用される可能性があるため、日本語版の改訂後、速やかに英語版改訂版も実施する必要がある。
  - ・今後の予定についての報告
    - －今年度の改修項目 20 点中、13 点は昨年 12 月までに改修済、残り 7 点は今年度内 3 月末までに完了する。（改修項目 No.14 日本語・英語版のステータスの機能について説明）

ー2013年月上旬より、くすりのしおり HP のリニューアル、データダウンロードシステムにおいて注射剤・英語版のデータ提供もスタートする。それに伴い、新システムへの掲載が済んでいない旧注射剤データのシステムへの早期移行、新規注射剤・英語版の作成が望まれる。

### 3) くすりの適正使用協議会 くすりのしおりコンコーダンス委員会報告

(くすりの適正使用協議会 栗原委員)

<参考資料：スライド資料 p. 5-7、参考資料 3>

- ・新システムに稼働に伴い、くすりのしおりクラブ会則の改訂を実施。企業により作成された「くすりのしおり®」は全てシステムに登録するよう会則上、明文化した。
- ・くすりの副作用用語事典を約10年ぶりに改訂予定。現時点で、提供形式は未定のため、決定次第、協議会より報告する。
- ・くすりのしおり英語版の掲載数推移と使われ方についての報告
  - ー2003年に始まり昨年末で2135件の英語版がHPに掲載された。その内、新規掲載は2011年約450件から2012年680件と充実が図られている。
  - ー某企業の相談室の調査によれば、使用目的が判明したものの多くは、日本人患者が渡航時に使用している実態が明らかになった。また、日本医薬品情報学会及び日本薬剤師会学術大会でポスター発表を実施した際、参加の薬剤師からも、日本人患者の渡航時（税関対応）に英語資料が必要とされているとの回答が多く寄せられた。特に汎用されている医薬品の英語版作成が望まれている。
- ・コンコーダンスの概念とコミュニケーション促進動画作成の報告
  - ーコンコーダンスとは、患者も医療チームを構成する専門家の一員とする考え方。この概念には医療者と患者の信頼関係・コミュニケーションが最も重要となるが、これら関係者をつなぐ有用な資料に「くすりのしおり®」は位置づけられる。
  - ー「くすりのしおり」を活用しコンコーダンスの概念を普及するため3本の動画を作成した。本日（2013/1/30）より協議会HPにて公開する。

※質疑応答 無し

#### 【講演】

#### 1. 「薬剤師の“いま”とくすりのしおり」

帝京平成大学 薬学部 准教授 井手口 直子 先生（略）

#### 2. 「服薬アドヒアランスの向上へ 薬剤師によるコンコーダンスの取り組みの活性化を」

東京理科大学 薬学部 健康心理学研究室 教授 後藤 恵子 先生（略）

※質疑応答 無し

以上